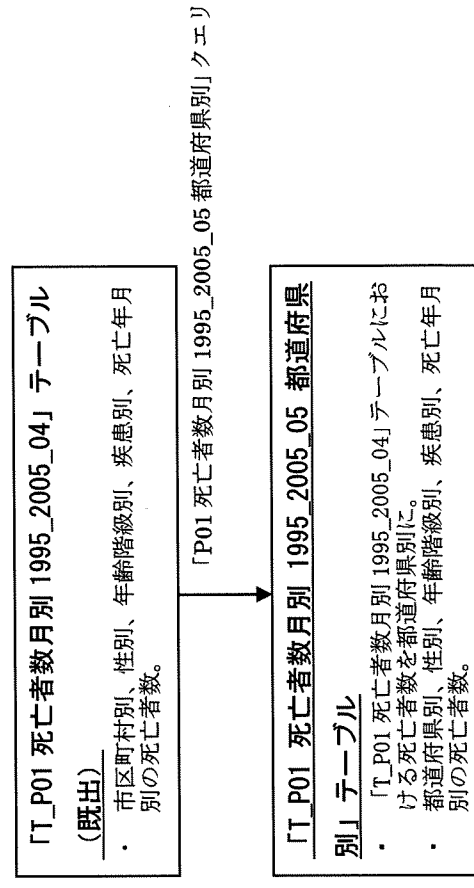
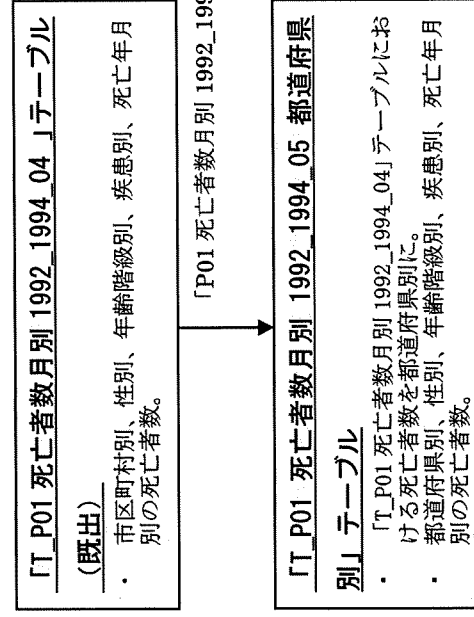


(手順 1-2) 死亡者数実績値の整備 (都道府県別)





(手順 2-2) 死亡率の算出 (都道府県別)

「国勢調査人口 1995」テーブル  
 「国勢調査人口 2000」テーブル  
 「国勢調査人口 2005」テーブル  
 「人口推移人口都道府県別」テーブル

(P05 人口都道府県別 03\_1992\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_1993\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_1994\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_1995\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_1996\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_1997\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_1998\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_1999\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_2000\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_2001\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_2002\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_2003\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_2004\_02] クエリ)  
 (P05 人口都道府県別 03\_2005\_02] クエリ)

(T\_P05 人口都道府県別 03\_1993\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_1994\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_1995\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_1996\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_1997\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_1998\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_1999\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_2000\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_2001\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_2002\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_2003\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_2004\_02] テーブル)  
 (T\_P05 人口都道府県別 03\_2005\_02] テーブル)  
 ・ 人口推計の人口を月別に線形補間。  
 ・ 都道府県別、性別、年齢階級別、月別人口

「P05 人口都道府県別 04\_02」クエリ

「T\_P05 人口都道府県別」テーブル  
 ・ 「T\_P05 人口都道府県別 03\_1993\_02」～「T\_P05 人口都道府県別 03\_2005\_02」テーブルをつなげる。  
 ・ 都道府県別、性別、年齢階級別、月別人口

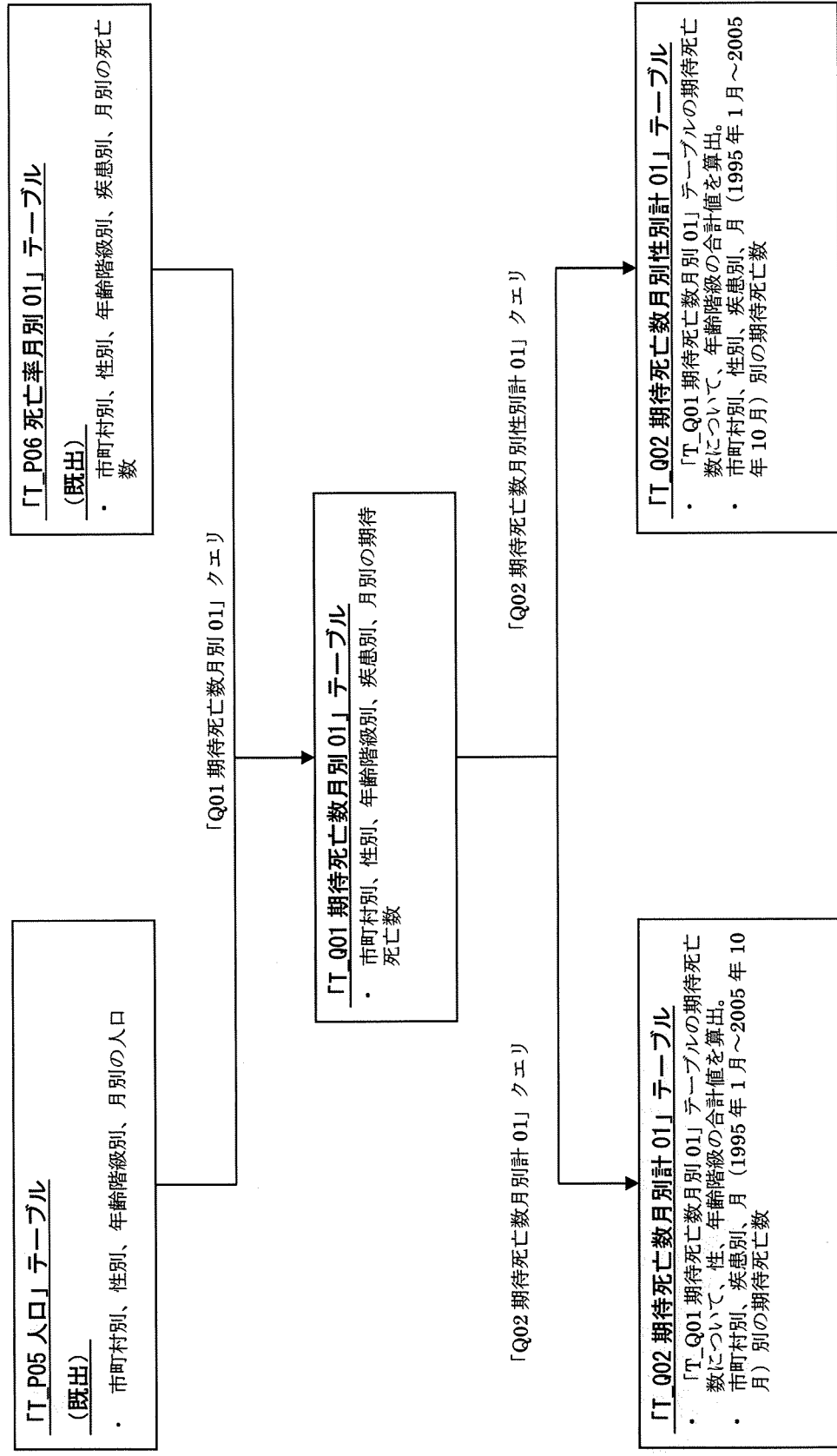
「T\_P01 死亡者数月別 1992\_1994\_05 都道府県別」テーブル  
 (既出)  
 ・ 都道府県別、性別、年齢階級別、疾患別、死亡年月別の死亡者数。

「P06 死亡率月別 002 都道府県別」クエリ

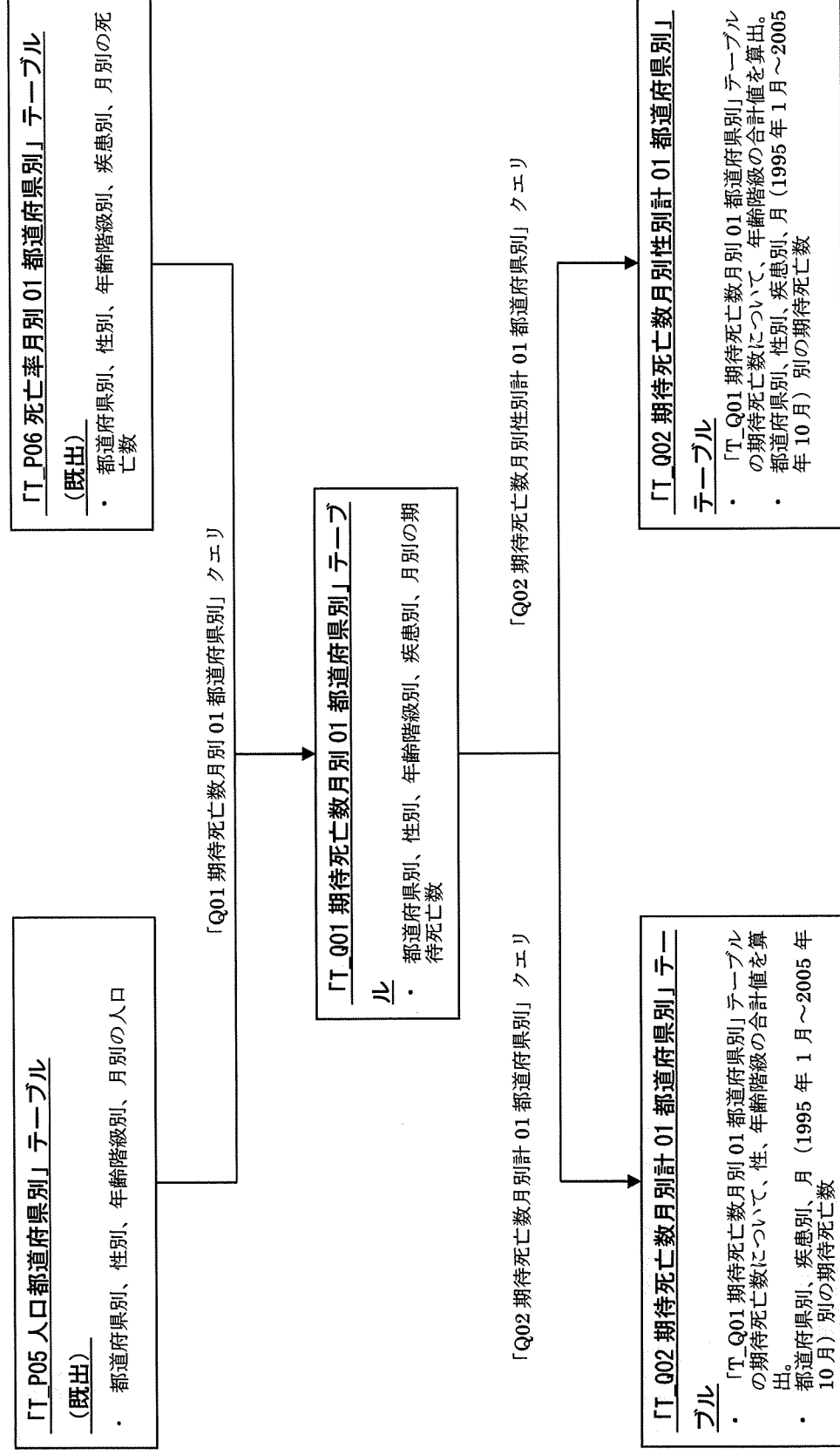
「P06 死亡率月別 001 都道府県別」クエリ  
 「P06 死亡率月別 002 都道府県別」クエリ  
 「P06 死亡率月別 01 都道府県別」クエリ

「T\_P06 死亡率月別 01 都道府県別」テーブル

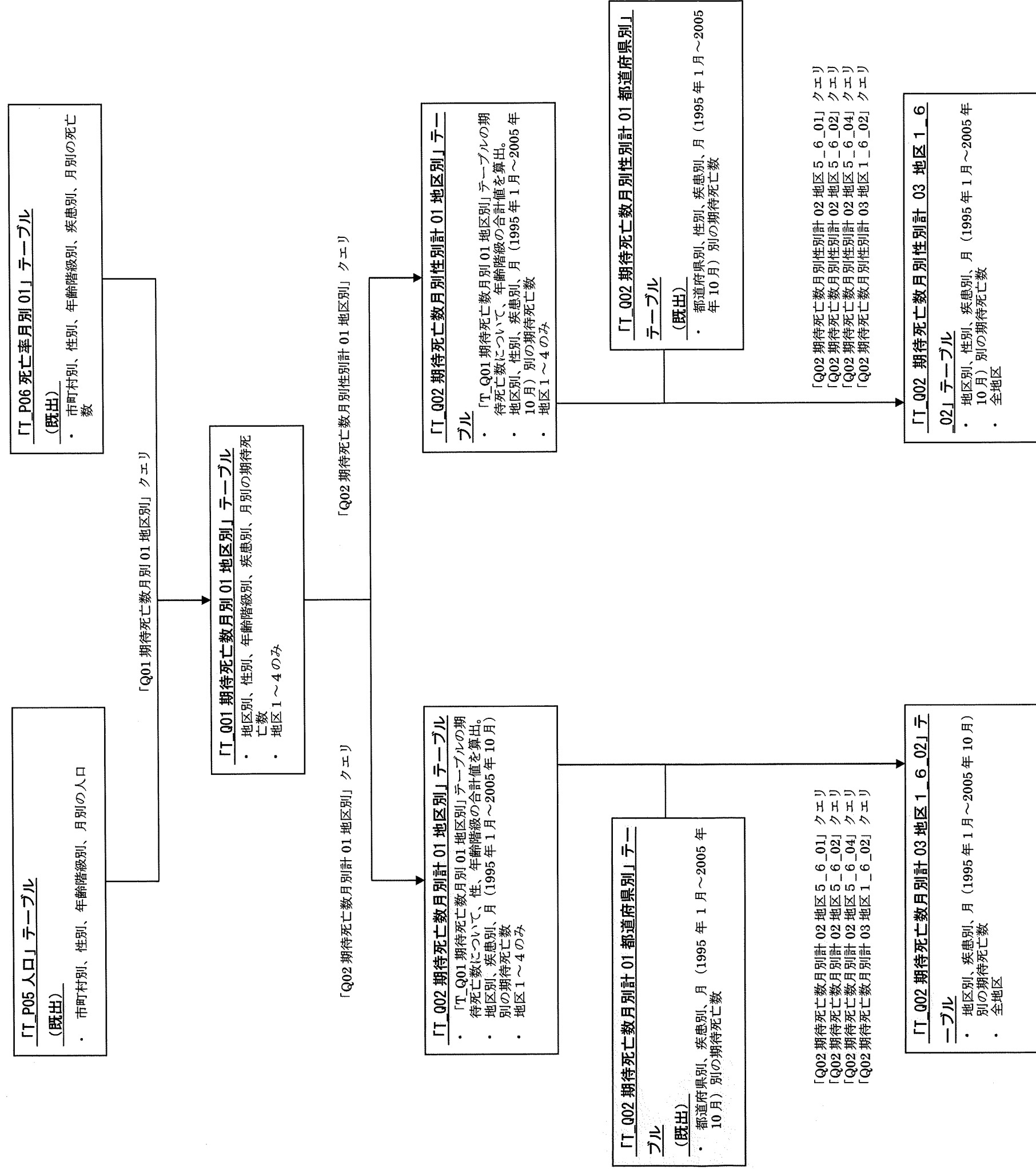
(手順 3-1) 期待死亡数 (1995 年以降) の算出 (市町村別)



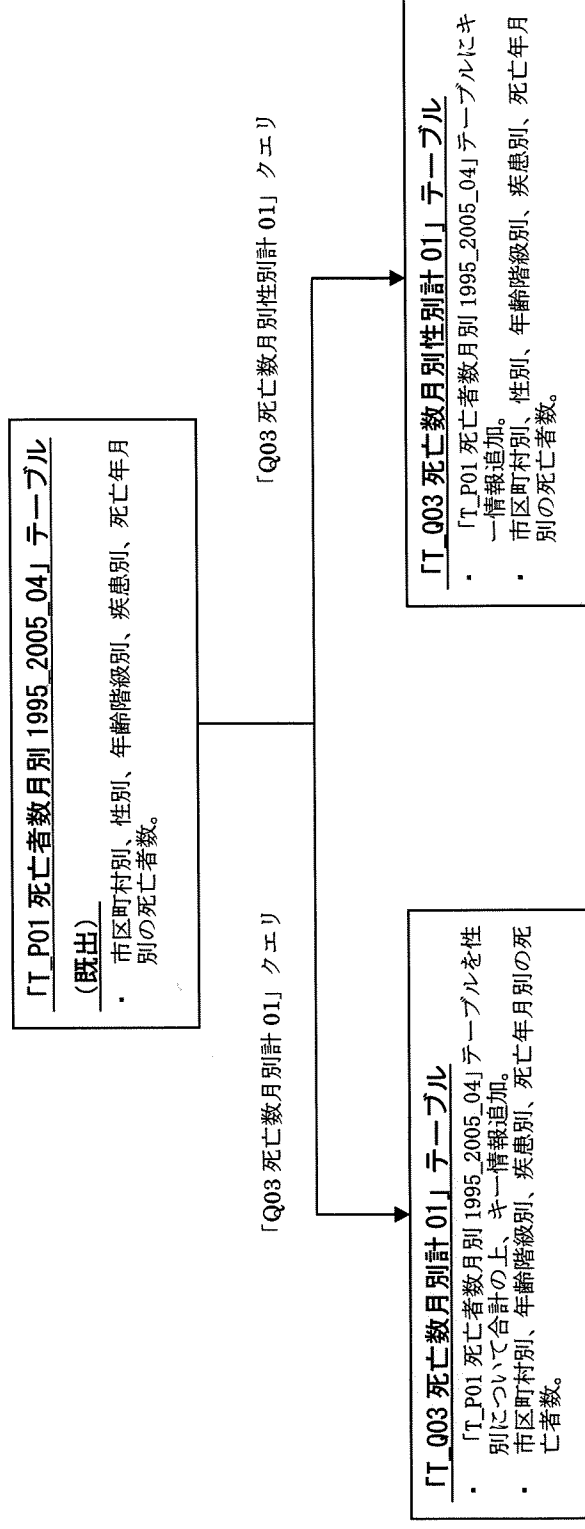
(手順 3-2) 期待死亡数 (1995 年以降) の算出 (都道府県別)



(手順3-3) 期待死亡数 (1995年以降) の算出 (地区別)



(手順 4-1) 実績死亡数 (1995 年以降) の算出(市町村別)



(手順 4-2) 実績死亡数 (1995 年以降) の算出 (都道府県別)

「T\_P01 死亡者数月別 1995\_2005\_05 都道府県別」テーブル  
 (既出)  
 ・ 市区町村別、性別、年齢階級別、疾患別、死亡年月別の死亡者数。

「Q03 死亡数月別計 01 都道府県別」クエリ

「T\_Q03 死亡数月別計 01 都道府県別」テーブル  
 ・ 「T\_P01 死亡者数月別 1995\_2005\_05 都道府県別」テーブルを性別、年齢階級の合計値を算出の上、キー情報追加。  
 ・ 都道府県別、年齢階級別、疾患別、死亡年月別の死亡者数。

「Q03 死亡数月別性別計 01 都道府県別」クエリ

「T\_Q03 死亡数月別性別計 01 都道府県別」テーブル  
 ・ 「T\_P01 死亡者数月別 1995\_2005\_05 都道府県別」テーブルを年齢階級の合計値を算出の上、キー情報追加。  
 ・ 都道府県別、年齢階級別、疾患別、死亡年月別の死亡者数。



(手順 4-3) 実績死亡数 (1995 年以降) の算出 (地区別)

「T\_P01 死亡者数月別 1995\_2005\_04」テーブル  
(既出)  
 ・ 市区町村別、性別、年齢階級別、疾患別、死亡年月別の死亡者数。

「Q03 死亡数月別計 01 地区別」クエリ

「Q03 死亡数月別性別計 01 地区別」クエリ

「T\_Q03 死亡数月別計 01 地区別」テーブル  
 ・ 「T\_P01 死亡者数月別 1995\_2005\_04」テーブルの死亡数について、性別、年齢階級の合計値を算出。  
 ・ 地区別、疾患別、月 (1995 年 1 月～2005 年 10 月) 別の死亡数  
 ・ 地区 1～4 のみ

「Q03 死亡数月別性別計 01 地区別」テーブル  
 ・ 「T\_P01 死亡者数月別 1995\_2005\_04」テーブルの死亡数について、年齢階級の合計値を算出。  
 ・ 地区別、性別、疾患別、月 (1995 年 1 月～2005 年 10 月) 別の死亡数  
 ・ 地区 1～4 のみ

「T\_Q03 死亡数月別計 01 都道府県別」テーブル  
(既出)  
 ・ 都道府県別、疾患別、月 (1995 年 1 月～2005 年 10 月) 別の死亡数

「T\_Q03 死亡数月別性別計 01 都道府県別」テーブル  
(既出)  
 ・ 都道府県別、性別、疾患別、月 (1995 年 1 月～2005 年 10 月) 別の死亡数

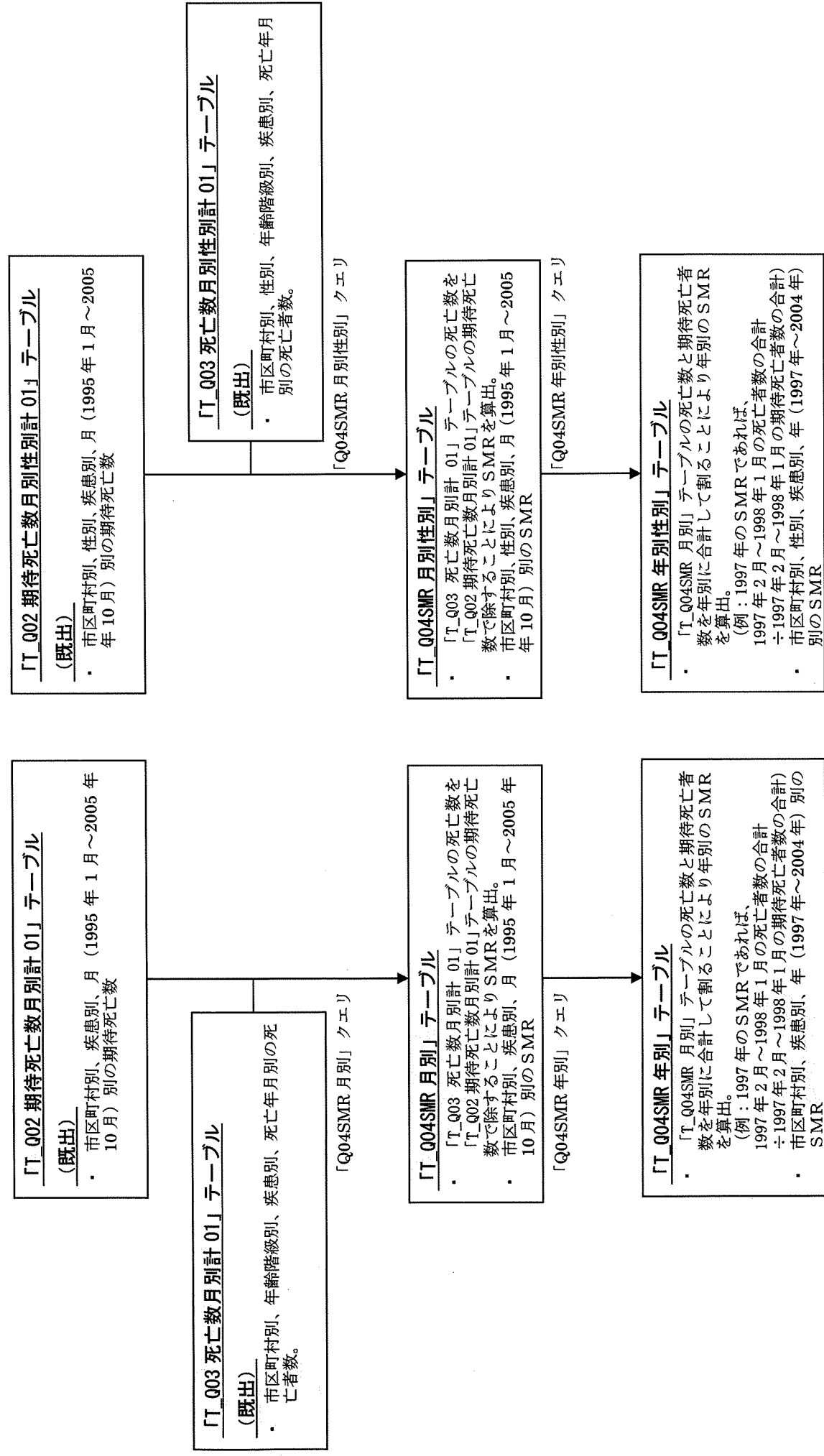
「Q03 死亡数月別計 02 地区 5\_6\_01」クエリ  
 「Q03 死亡数月別計 02 地区 5\_6\_02」クエリ  
 「Q03 死亡数月別計 02 地区 5\_6\_04」クエリ  
 「Q03 死亡数月別計 03 地区 1\_6\_02」クエリ

「Q03 死亡数月別性別計 02 地区 5\_6\_01」クエリ  
 「Q02 期待死亡数月別性別計 02 地区 5\_6\_02」クエリ  
 「Q02 期待死亡数月別性別計 02 地区 5\_6\_04」クエリ  
 「Q02 期待死亡数月別性別計 03 地区 1\_6\_02」クエリ

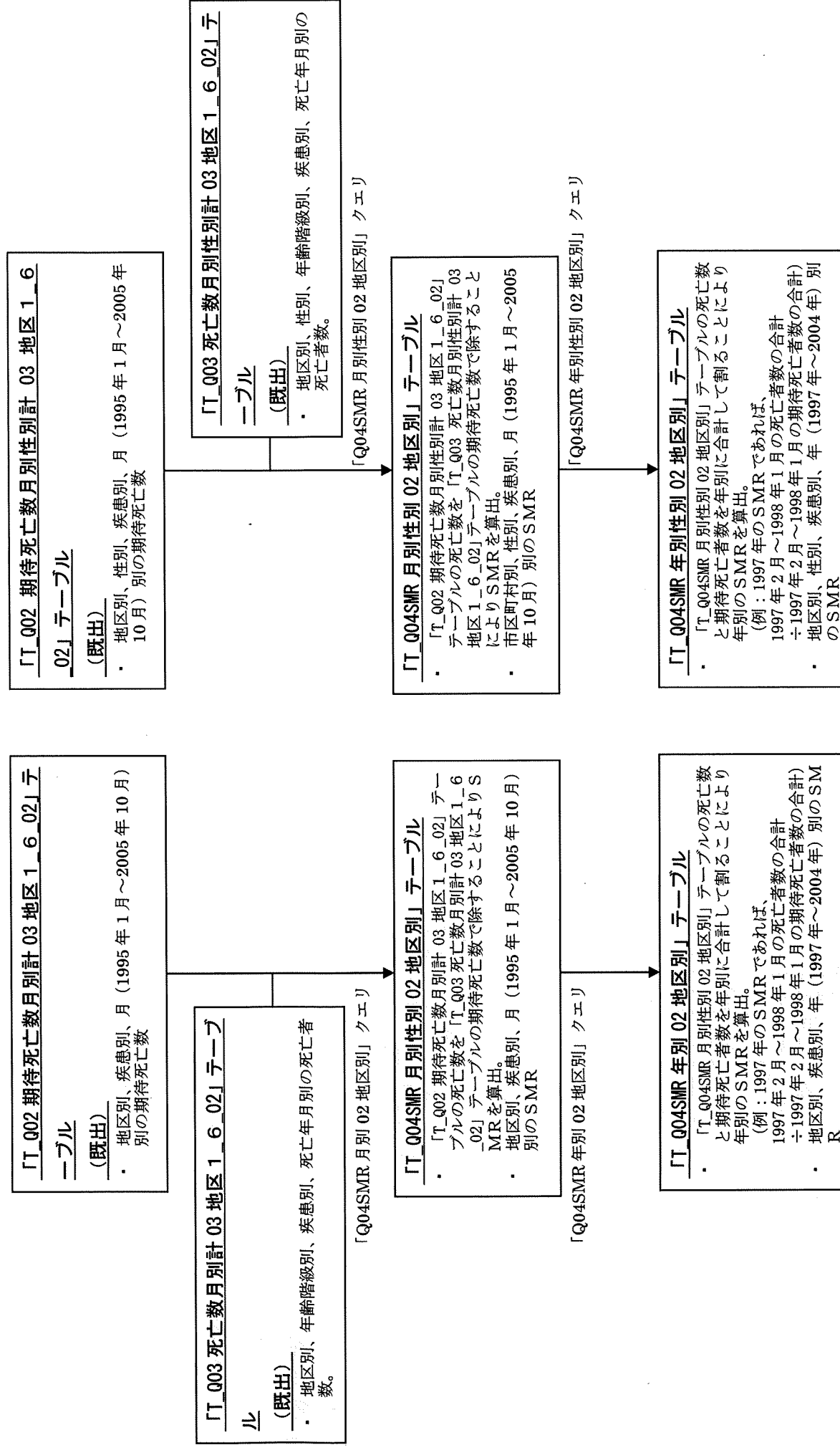
「T\_Q03 死亡数月別計 03 地区 1\_6\_02」テーブル  
 ・ 地区別、疾患別、月 (1995 年 1 月～2005 年 10 月) 別の死亡数  
 ・ 全地区

「T\_Q03 死亡数月別性別計 03 地区 1\_6\_02」テーブル  
 ・ 地区別、性別、疾患別、月 (1995 年 1 月～2005 年 10 月) 別の期待死亡数  
 ・ 全地区

(手順5-1) SMRの算出(市町村別)



(手順5-2) SMRの算出 (地区別)



### (3) SMR 算出結果

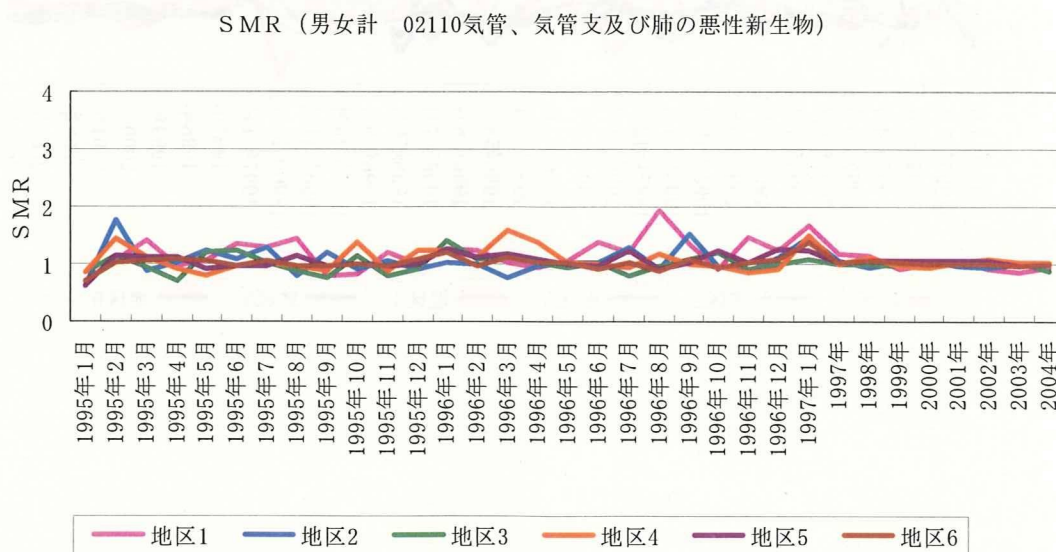
#### ① 気管、気管支及び肺の悪性新生物

男女計では、震災直後の1995年2月に地区2が1.8と他の地区より若干高いSMRを示しているが、他の地区と比較して大きな差は生じていない。また、1996年8月に地区1が1.9と他の地区より若干高いSMRを示しているが、同様に、他の地区と比較して大きな差は生じていない。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1で推移している。

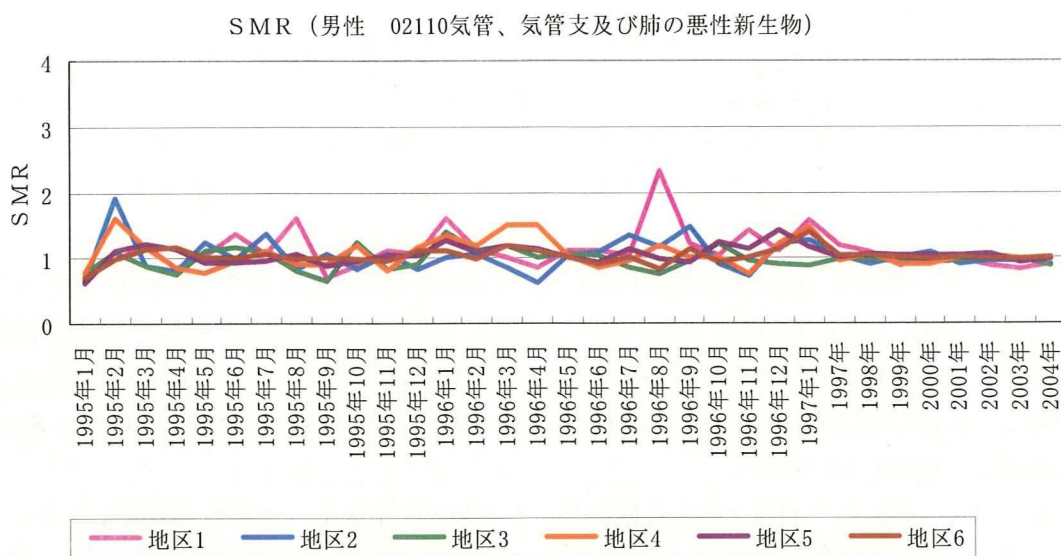
男性では、男女計と近い傾向を示しており、1995年2月に地区2が1.9と他の地区より若干高いSMRを示しているが、他の地区と比較して大きな差は生じていない。また、1996年8月に地区1が2.3と他の地区より若干高いSMRを示しているが、同様に、他の地区と比較して大きな差は生じていない。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1で推移している。

女性では、男女計、男性と異なる傾向を示しており、地区1、地区2、地区4のばらつきが大きくなっている。地区1は震災直後の1995年3月に2.6、1995年7月に1.9、1995年6月に2.2、1996年9月に2.0、1996年11月に1.6、1997年1月に1.9と他の地区より高いSMRを示している。また、地区1は震災直後の1995年4月に2.0、1995年9月に1.5、1996年4月に2.4、1996年9月に1.7、1997年1月に2.2、と他の地区より高いSMRを示している。地区4は1996年3月に1.8、1996年6月に1.7、1997年1月に1.6、と他の地区より高いSMRを示している。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1で推移している。

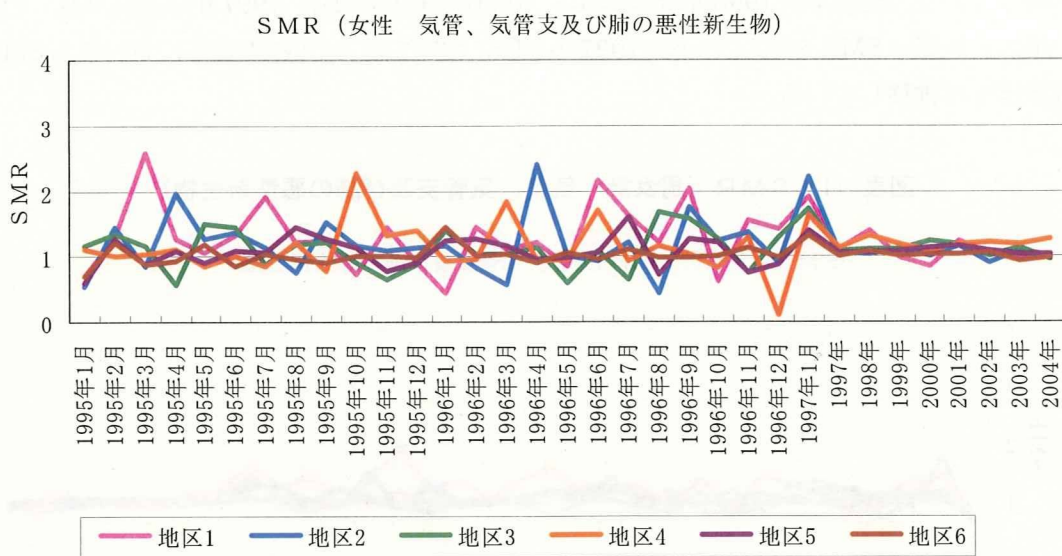
図表 11 SMR (男女計 気管、気管支及び肺の悪性新生物)



図表 12 SMR (男性 気管、気管支及び肺の悪性新生物)



図表 13 SMR (男性 気管、気管支及び肺の悪性新生物)





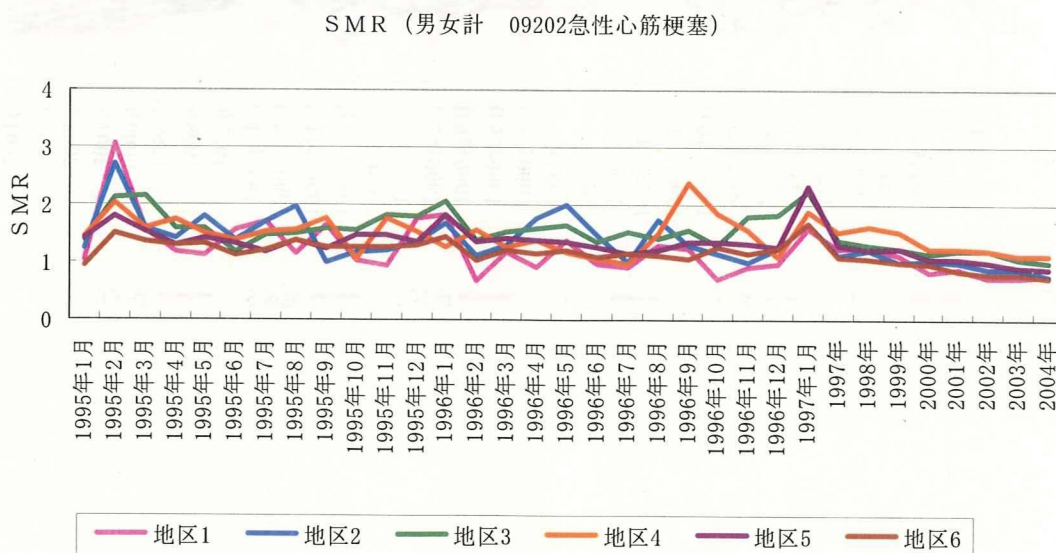
② 急性心筋梗塞

男女計では、震災直後の1995年2月に地区1が3.1、地区2が2.7と他の地区より高いSMRを示しているが、他の地区も比較的高いSMRを示している。以降においては、1996年9月に地区4が2.4、1997年1月に地区3が2.2、地区5が2.3と他の地区より若干高いSMRを示している。1997年～2000年にかけて、いずれの区もSMRが1に収束しており、2001年以降は、いずれの地区もSMRはほぼ1で推移している。

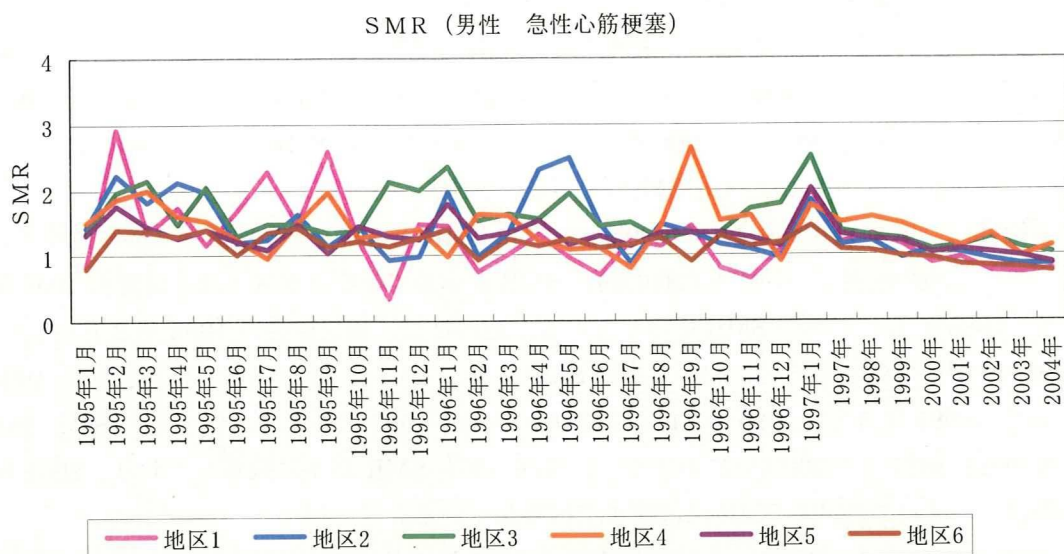
男性では、地区1が震災直後の1995年2月にSMRが2.9と他の地区より高い値を示しているが、他の地区についても比較的高いSMRを示している。地区1は、以降も1995年7月、1995年9月と高いSMRを示している。地区2は、震災直後の1995年2月～5月、1996年4月、1996年5月において高いSMRを示している。地区3は、震災直後の1995年3月、1995年5月、1995年11月～1996年1月、1997年1月において高いSMRを示している。1997年～2000年にかけて、いずれの区もSMRが1に収束しており、2001年以降は、いずれの地区もSMRはほぼ1で推移している。

女性では、地区1、地区2ともに震災直後の1995年2月に3.2と他の地区より高いSMRを示しているが、他の地区についても比較的高いSMRを示している。また、地区2は1995年7月、1995年8月にも他の地区より高いSMRを示している。その他、地区4についても他の地区より高いSMRを示している月が数回あり、地区5については、1997年1月に他の地区より高いSMRを示している。1997年～2000年にかけて、いずれの区もSMRが1に収束しており、2001年以降は、いずれの地区もSMRはほぼ1で推移している。

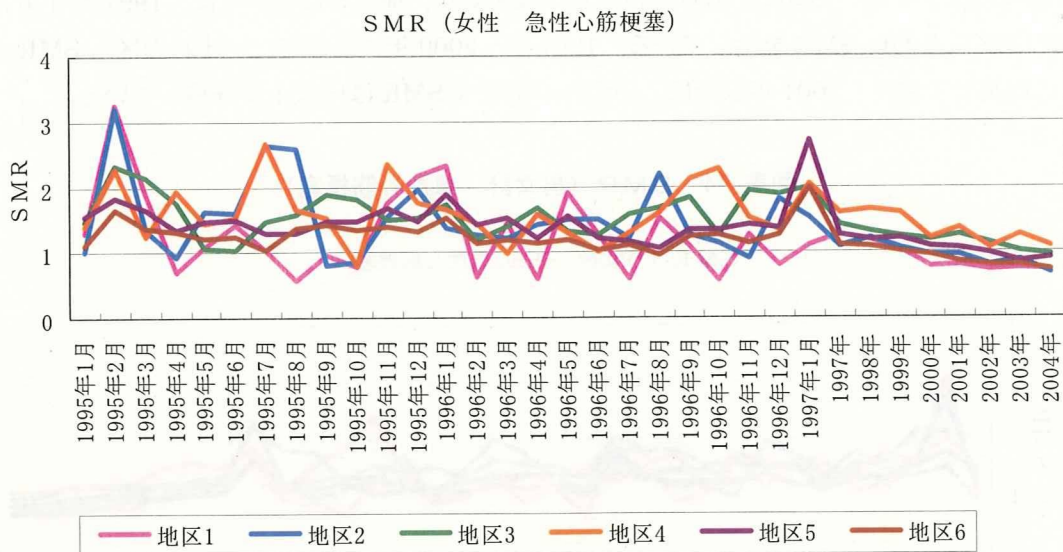
図表 14 SMR (男女計 急性心筋梗塞)



图表 15 SMR (男性 急性心肌梗塞)



图表 16 SMR (女性 急性心肌梗塞)



### ③ 脳梗塞

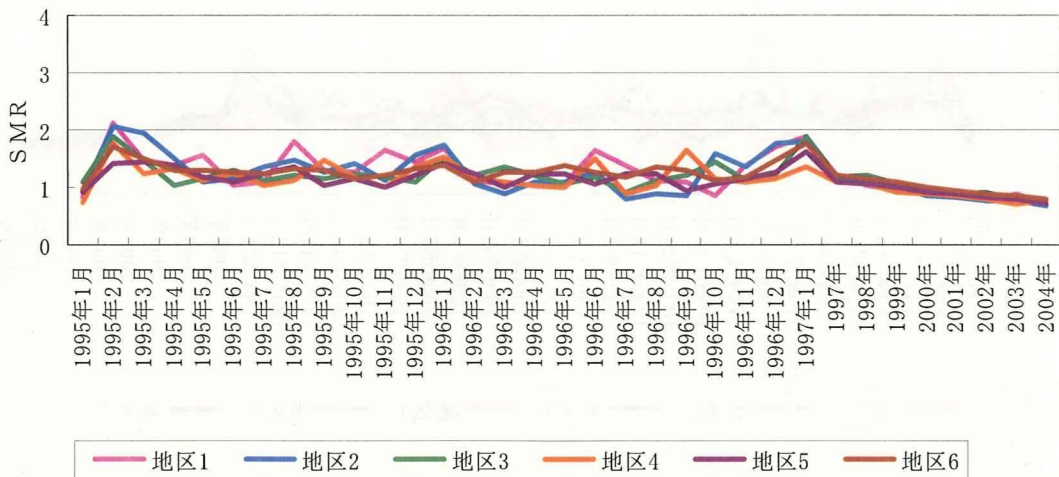
男女計では、震災直後の1995年2月にいずれの地区においてもSMRが2前後の高い値を示している。以降のSMRはいずれの地区においても2以下で推移しており、また、各地区に大きな差は生じていない。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1で推移しており、直近ではSMRは1を下回っている。

男性では、男女計と比較して地区ごとのSMRの値のばらつきが大きく、1995年2月に地区2が2.9と他の地区より若干高いSMRを示しており、以降も1995年7月、1996年1月と高いSMRを示している。地区1は、何度か高いSMRを示しているが、1997年1月に2.6と高いSMRを示している。地区4についても、1995年9月、1996年9月において高いSMRを示している。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1で推移しており、直近ではSMRは1を下回っている。

女性では、震災直後の1995年2月にいずれの地区においてもSMRが2前後の高い値を示している。地区1は1995年8月にも2.5と他の地区より高いSMRを示している。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1で推移しており、直近ではSMRは1を下回っている。

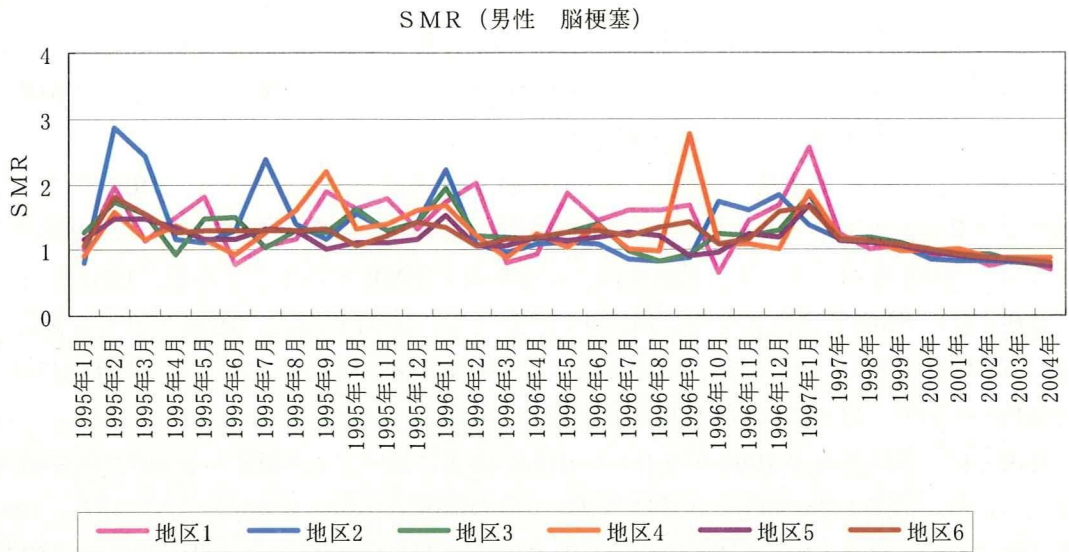
図表 17 SMR (男女計 脳梗塞)

SMR (男女計 09303脳梗塞)

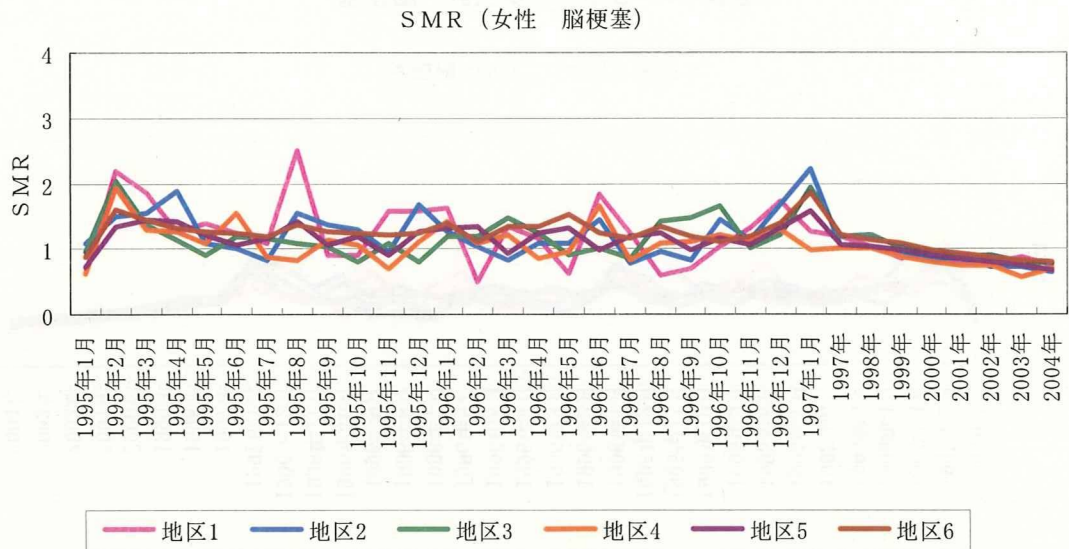




图表 18 SMR (男性 脑梗塞)



图表 19 SMR (女性 脑梗塞)



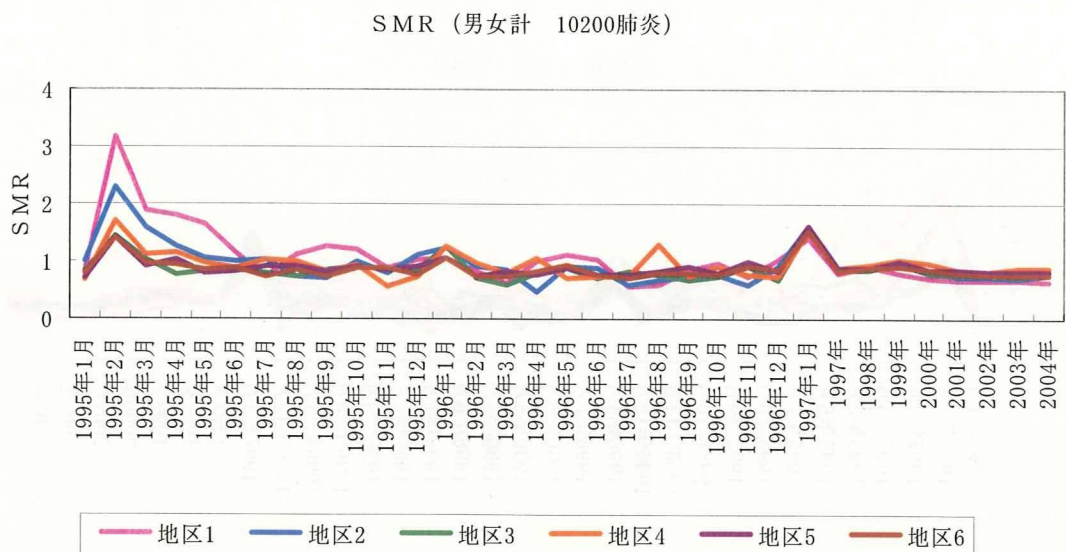
④ 肺炎

男女計では、震災直後の1995年2月に地区1が3.2、地区2が2.3と他の地区より高いSMRを示している。地区1、地区2ともにそれ以降は、SMRは低下傾向にあり、1995年7月以降は他の地区と比較して差は生じていない。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1弱で推移している。

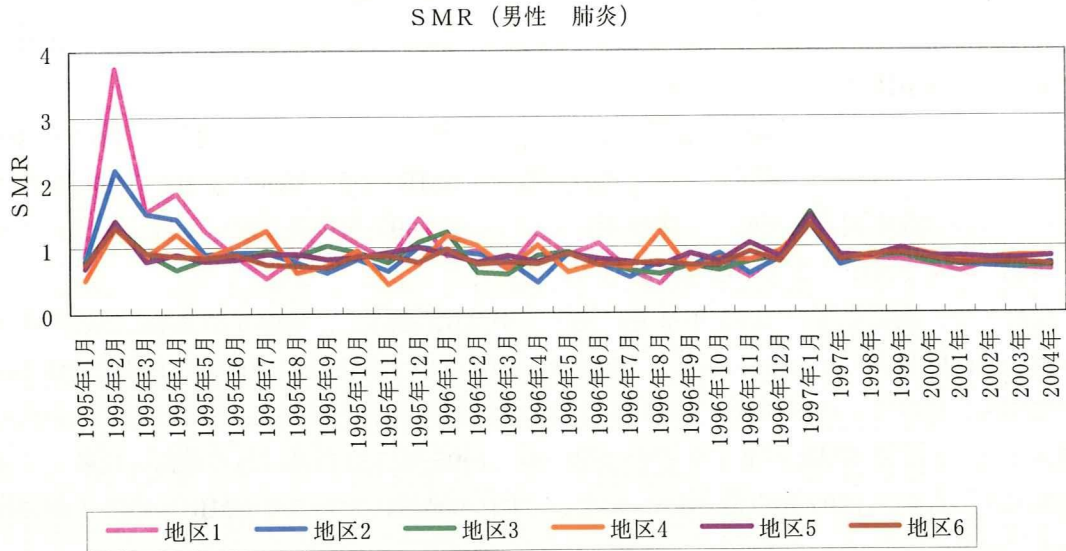
男性では、震災直後の1995年2月に地区1が3.7、地区2が2.2と他の地区より高いSMRを示している。地区1、地区2ともにそれ以降は、SMRは低下傾向にあり、1995年5月～6月以降は他の地区と比較して差は生じていない。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1弱で推移している。

女性では、震災直後の1995年2月に地区1が2.6、地区2、地区4が2.4と他の地区より高いSMRを示している。地区1、地区2、地区4いずれもそれ以降は、SMRは低下傾向にあり、地区2、地区4は、1995年4月以降は他の地区と比較して差は生じていない。地区1はそれよりSMRが低下するのは遅いが、1995年7月以降は他の地区と比較して差は生じていない。1997年以降においては、いずれの地区においてもSMRはほぼ1弱で推移している。

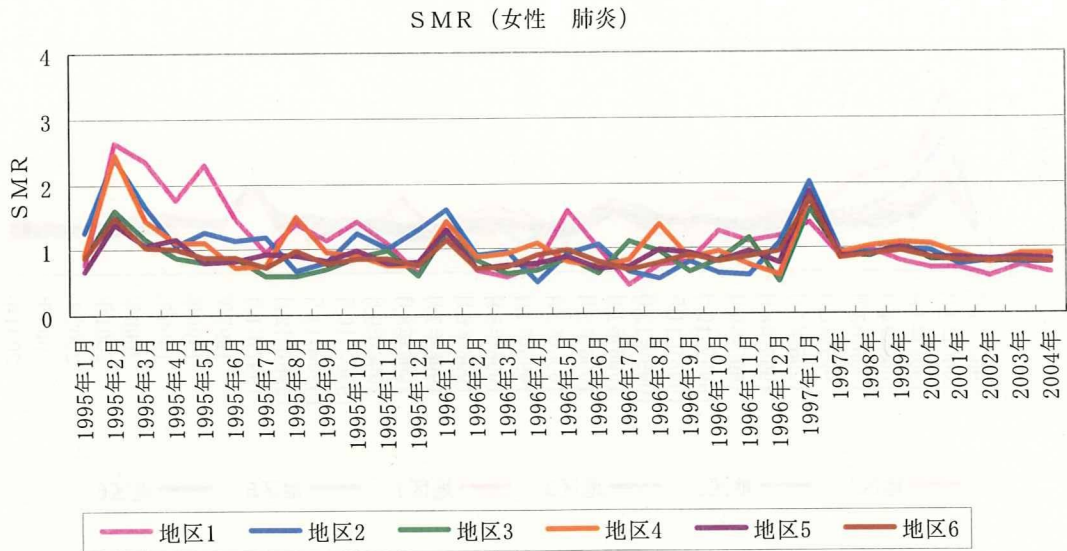
図表 20 SMR (男女計 肺炎)



图表 21 SMR (男性 肺炎)



图表 22 SMR (女性 肺炎)



⑤ 自殺

男女計では、震災直後の1995年2月に地区1が1.4、地区2が1.8と他の地区より高いSMRを示している。その後も地区1、地区2、地区4、地区5において何度かSMRが高い月が存在している。1997年以降においても、いずれの地区もSMRは1.5前後で推移しており、高いSMRを示している。

男性では、震災直後の1995年2月に地区1が2.6、地区2が1.8と他の地区より高いSMRを示している。その後も地区1、地区2、地区4において何度かSMRが高い月が存在している。1997年以降においても、いずれの地区もSMRは1.5前後で推移しており、高いSMRを示している。

女性では、震災直後の1995年2月に地区1が2.3と他の地区より高いSMRを示している。それ以降においては、地区2が1995年10月で7.0、地区4が1995年12月において8.7、1996年12月において6.9と非常に高いSMRを示している。その後も地区1、地区2、地区4において何度かSMRが高い月が存在している。1997年以降においても、いずれの地区もSMRは1.5前後で推移しており、高いSMRを示している。

図表 23 SMR (男女計 自殺)

SMR (男女計 2020自殺)

